

2021年5～9月に実施した主なイベント

5月

- 女性のエンパワーメントとSDG Goal 9
「産業と技術革新の基盤をつくろう」
- バングラデシュ投資・ビジネス相談
- バングラデシュ企業との商談会

6月～7月

- オンラインイベントシリーズ①～③
「UNIDO-Japan Cooperation
～日本とUNIDOの協力の新たな課題と可能性」
- 第3回 日本・アフリカビジネスフォーラム
- インド企業との商談会
- インド企業紹介プレゼンテーション
- ガーナ投資セミナー: ビジネスチャンスとSDG投資機会
- ガーナ投資促進センターとの個別オンラインミーティング

9月

- コロンビア・ビジネスセミナー
「中南米の物流・輸出拠点: バジェ・デル・カウカ」

東京事務所のウェブサイト(www.unido.or.jp)で各イベント報告を掲載しています。ぜひご覧ください。

担当者から



遠く離れたアフリカで、言語、文化、価値観、社会の仕組みなどが異なる中、現地で事業を始めるのはハードルが高いかもしれません。それをサポートできるのが、現地をよく知る当事務所のアフリカアドバイザーです。様々な現地関係者とのネットワークや知見を活かしながら、現地パートナーとのビジネスマッチングに向けてオーダーメイドでご支援させていただきます。[アフリカアドバイザーに関するご相談は、itpo.tokyo@unido.orgへ。ご支援にかかる費用はございません。](mailto:itpo.tokyo@unido.org)

小野崎 慈慶

ゆにわーるど

アフリカ アドバイザー

— 日本企業と
アフリカをつなぐ
架け橋に —

NEWS

UNIDOと東京大学が持続可能な産業化に向けて連携強化

UNIDOと東京大学は2021年6月、革新的な技術や新たなビジネスモデル・制度的枠組みを探求することを目的とした国際交流協定を締結しました。UNIDOと東京大学の協力は2018年の共同シンポジウム以来深まっており、2019年4月にはUNIDOリー・ヨン事務局長の来日時、イノベーションをテーマにしたワークショップを開催し、東京大学の若手研究者が革新的な技術・研究内容を発表しました。

2020年8月には、UNIDOが共催する「第3回世界製造・工業化サミット(GMIS2020)」の中で、未来の製造業のあり方を議論するオンライン形式のパネルセッションが開催され、



調印式の様子。左が UNIDO リー・ヨン事務局長



東京大学の研究者が次世代の生産技術について紹介しました。今回の協定では、UNIDOと東京大学が取り組む共同プロジェクトのテーマとして、

未来の製造業・産業・社会、デジタル化/第四次産業革命、海洋プラスチックごみ、循環型経済、カーボンニュートラル等が挙げられています。

アフリカアドバイザーが 現地へのビジネス進出を ご支援



UNIDO東京事務所は2013年以降、「最後のフロンティア」と呼ばれるアフリカの急速な成長と日本企業のビジネスチャンスをつなげるため、日本企業のアフリカ進出を支援するアドバイザー事業を開始しました。アルジェリア、エチオピア、モザンビーク、セネガルの4カ国に現地をよく知るビジネスアドバイザーを4人配置し、日本企業の相談窓口として、現地における事業立ち上げをご支援しています。

日本企業の **サポート実績80件以上!**

アフリカアドバイザー 主な支援内容



日本企業の
現地での
お悩みを
解決します!

アフリカアドバイザーからの

メッセージ
Message



セネガル担当

アイサトゥ・ンジャイ

投資先としてのセネガルの魅力は、まず大西洋に面し、西アフリカへのアクセスが良いこと。そして3億人の消費者を抱えており、平和と民主主義の長い伝統により、良いビジネス環境が実現されています。経済規模も大きく、若くて熟練した労働力が多いなど人的資源にも恵まれた国でもあります。近年交通インフラも整ってきています。また、定期的に見直される法制度や財政制度、関税制度によって、様々な投資インセンティブが生まれています。



エチオピア、ブルンジ、
ウガンダ、ルワンダ担当

タデッセ・セグニ

東アフリカ諸国は大量生産経済へと変貌しつつあり、現在、建設、エネルギー、鉱業、貿易、サービス、観光、ICT開発などの産業分野に重点を置いています。地理的に中東・ヨーロッパ市場に近く、人口も4億人を超え、中産階級が急速に増えています。まさに成長の真っ只中において、投資を検討するのに適した時期と言えます。東アフリカ諸国への投資を検討したい日本企業の皆さまに対し、全てのプロセスにおいて、実践的なサポートをできれば幸いです。



アルジェリア担当

リーズ・ケラル

アルジェリアには、①工業製品②道路・鉄道・港などのインフラ③電気・天然ガス④訓練を受けた人材に対する需要がありながら、その可能性を活かしきれていません。日本企業の技術はアルジェリア国内で高く評価されており、直接投資のチャンスが大いにあります。よく知らない国への投資はリスクが大きいと感じるかもしれませんが、私たちのネットワークを通じて地元企業と提携することで市場における優位性を確保し、リスクを軽減できます。



モザンビーク担当

ナンディオ・ドウラン

モザンビークの産業開発はまだ初期段階ですが、インド洋の玄関口として、輸送や港、鉄道といった産業の創出につながる大きな可能性を秘めています。これからますます製品やサービスの需要が高くなることが予想されており、長期的かつ競争力のある投資を検討するチャンスです。日本企業の皆さまが抱く初歩的なニーズ、例えば政治や法制度、特定の産業分野に関する情報を提供し、現地関係者との会議や視察訪問時の同行、事業開始までサポートします。